

NPO法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行 (☎080-4540-3553)

4月の「どんぐりsカフェ」から

姉妹都市・ケローナの魅力を知ろう

4月15日の「どんぐりsカフェ」は、女性とまちづくりシリーズの第二弾として、羽後静子中部大教授に「ケローナ姉妹都市市民とつくるニュータウンのまちづくり」と題してお話をいただいた＝写真。カナダのケローナ市は人口約18万で、自然豊かな美しい景観の都市。わが春日井市と姉妹都市であることや、市内に和風庭園「春日井ガーデン」があることはあまり知られていない。そこで、少しでも多くの方に知ってもらおうというのが今回のねらいだった。

羽後教授からは、ケローナの歴史、先住民を

役員会から

●今回から、この欄は“役員会から”と名称変更して、役員会で今どのようなことが検討されているかを、紹介することになりました。早速4月23日に開催された役員会内容紹介をします。主要な協議事項は、①少しマンネリ化している「どんぐりsカフェ」の見直し②5月21日開催予定の「どんぐりs」第10期総会の議案書内容の検討、でした。「どんぐりsカフェ」については、より多くの方々に参加していただくためのテーマ・講師の設定の仕方、広報宣伝方法などについて協議しました。特にさまざまな特技・才能をもった役員や会員の方々に楽しいお話をしてもらうことや、カフェらしく簡単な飲み物やお菓子を用意する工夫があってもよいのではないかな、などの意見について検討しました。

●総会議案書の検討では、来期の活動方針として、役員主導の活動スタイルからの脱皮、新たな課題の掘り起こし、行政やURに対する働きかけを強化することなどが議論されました。10年目を迎えた「どんぐりs」も活動の転換期を迎えています。皆様のご支援とご鞭撻をお願いします。(藤城 栄一)



大切にしている国民性、ワイン生産を中心とした産業、19のゴルフ場と3つのスキー場を抱えたりリゾート地、数多くの大学を抱えた学園都市としての性格など多岐にわたる紹介があり、最後に高蔵寺ニュータウンに「ケローナ通り」を作りたい、という提案で話を閉じた。(藤城 栄一)

総会と講演会のお知らせ

2017年度の「どんぐりs」(NPO法人高蔵寺ニュータウン再生市民会議)の総会および講演会を5月21日(日)、東部市民センター第2集会室で開催いたします。

- 総会：14:00～14:30(受付13:30～)
- 講演会：14:45～16:30(受付14:30～)
- 講師：竹内伝史氏(岐阜大学名誉教授)
- テーマ：高蔵寺ニュータウン再生とコンパクトな地域づくり～生活交流型交通計画を中心として
(講演会は会員以外の方も参加できます)

高齢者・すまい・くらし面接相談

- まずはお電話ください
080-4540-3553(どんぐりS事務局)
面接相談会日時：5月7日(日)、28日(日)
ともに13:30～16:00
- 会場：東部ほっとステーション
(サンマルシェ南館1階)

「生き生き楽農会」が総会 美しい環境の保全確認

「どんぐりs」環境部会の「生き生き楽農会」の第8回定期総会が4月8日、タウン石尾台第2集会所で開催された。玉野地区の「どんぐり農園」（4区画約600坪）で無農薬有機栽培による野菜、果樹づくりを楽しむ19人が集まり、



オジロワシ（北海道・羅臼） 森 健

私の朝・昼・晩

古希を迎えて思うこと

古希は人生の第四コーナーと考える。これからの人生のバックストレッチ。どんな記録が生まれるか、本人の気持ちと努力次第。ある心理学者の言葉に「変わる気持ちを持って、一步踏み出せば幸せに生きられる」とある。自分の足跡を信じ、地域社会に貢献する気持ち、前向きに日々を送ることだろう。

亡き母は、私に謙虚に生きることを教えた。人に迷惑をかけるな、感謝の気持ちを持って。苦あれば楽あり、我慢強く努力せよ。血気盛んな自分の将来を案じて諭してくれた。人生のバックストレッチの距離は分からないが、両親を見習い、健康で15年は頑張り、子供や孫の人生に役立てれば、と思う。健康で自立した生き方は、立派な社会貢献と思う。心身と頭の維持が大切。運動の継続、自立した食生活、日記や家計簿を続けること。余暇には写真撮影を楽しみたい。

感謝の気持ちを忘れずに、自分なりの歩みをし、生活すれば母のように最良のゴールが得られることだろう。（坂本 秀明）

野菜作りや今期の行事について話し合った。昨年は長雨にたたられ、タマネギはじめ大根や葉菜類が出来なかった。モグラ被害が目立ったほかイチゴが盗難にあったなどの報告があり、対策を話し合った。新年度の行事としては、季節毎の野菜講習会、ミュージックジャンボリーでの産直販売、溝さらえや庄内川の一斉清掃、家族団らんの芋煮会、会員同士の親睦を深める懇親会、農福連携活動など盛りだくさんである。

また、玉野の農家や周辺で野菜作りを楽しむ「ふるさと農園」の方々と協力し、美しい玉野を守るため、環境保全と明るい暮らしやすいまちづくりをめざすことを確認した。（堀内 泰）

「れんげまつり」5年ぶり開催

玉野で耕作し、自然を守っている利用者に感謝する「れんげまつり」（主催・玉野町農用地利用改善組合、協賛・美しい玉野を守る会）が4月30日、5年ぶりに開かれた＝写真。好天にめぐまれ、レンゲ草が一面に咲き乱れ、蜜蜂が飛び交う田園に近郊から多くの住民が集まり、抽選会やバーベキュー、トラック市などを楽しんだ。「どんぐりs」楽農会も子供を含めて15人が参加し、玉野の農家の方々と交流を深めた。



5月の「大人のたまり場」

日時：5月10日（水）13：00～16：00
5月24日（水）13：00～16：00

会場 「いつだって いま」
（高森台6丁目東高森台集会所そば）

参加費：200円

問い合わせ先

080-4540-3553（どんぐりs事務局）